

交換留学（派遣）近況報告書

留学先大学 : Université Paris Diderot (Paris 7)
 留学先での所属学部・研究科 : Master Cinéma, documentaire, médias
 留学先での在籍身分 : 修士課程
 留学期間 : 2017 年 2 月～ 2017 年 5 月
 神戸大学での所属学部・研究科 : 国際文化学研究科 博士課程後期課程
 学年（出発時） : 1 年
 本報告書記入日 : 2017 年 5 月 2 日

1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> ベルギー <期間> 2年間 (Université Libre de Bruxelles 修士課程修了)

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

<input type="checkbox"/> 国際教育総合センターの教員	<input checked="" type="checkbox"/> 所属学部・研究科の教員	<input type="checkbox"/> 友人
<input type="checkbox"/> 以前に参加した先輩	<input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の掲示板	<input type="checkbox"/> 神戸大学のホームページ
<input type="checkbox"/> 留学フェア	<input type="checkbox"/> その他（具体的に）	

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1～4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

1 学術的な目的（研究を深める等）	地理的な条件が良い
2 語学力の向上	旅行ができる
3 将来のキャリアのため（就職に役立つ等）	プログラムの時期が良い
4 家族のバックグラウンドと関係がある	プログラムの期間が良い
5 異文化体験	経費が安い
6 個人的理由	その他（具体的に）

1-4. VISAについて

VISAの種類 : Long séjour temporaire (6ヶ月以内滞在用ビザ)

申請先 : 在日フランス大使館（東京）

必要日数 : 2～3週間

VISA取得にかかった費用 : 6000円程度

VISA申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

ビザセクションで申請を行う前に、Campus Franceのウェブ登録が必須（交換留学の場合、登録料15000円、面接は免除）。ビザセクションでの必要書類は在日フランス大使館のHPで確認できる。

1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

なし

1-6. その他に必要だった手続き、方法、料金等

大使館でのビザ申請直前、以前は予約せずに手続可能だった交換留学生も予約が必要となり、何の連絡もなかつたためそのまま大使館へ行き、門前払いとなった。Campus Franceに電話し、大使館入口でも交渉したが結局不可で、後日出直したため、東京までの夜行バス料金が2倍かかり、ビザ取得が1ヶ月遅れることとなった。

2. 留学先到着後の手続きについて

2-1. 到着時について

利用航空会社 : ANA

利用旅行会社 (航空券の手配をした会社) : H.I.S

留学先大学最寄り空港名 : シャルル・ドゴール 空港

空港到着時間 : 16 時頃

空港からの移動手段 : 大学手配の出迎え 知人の出迎え 公共交通機関 バス、鉄道 タクシー
その他 (具体的に) _____

移動の所要時間・料金 : 90 分, _____

空港からの移動の際の注意点 :

パリはスリ、ひったくり、ぼったくりが多いところなので、事前にネット等で目的地までの移動経路を確認し、最短距離で足早に移動する。特にメトロは軽犯罪が多く、エスカレーター等も故障中がしばしばがあるので、スーツケースを持っている時はバスかタクシー移動が無難。タクシーは乗る前に正規タクシーか必ず確認する。

2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無 : 有り 無し参加について : 必須 任意参加参加費用 : 無料 有料 (金額 :)

内容について記入してください。

たしか学期初めに行われる旨の連絡が留学先大学側から届いたと思うが、私の場合コロキアム審査を受けてからの出発だったので、渡航時期が2月中旬となり、参加できなかったため詳細は不明。また大学の日本人留学生サポートの担当者から日本語のメールも届いたので、わからないこと等は相談可能だと思われる。

2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

私の場合は、滞在が6か月以内のため現地手続きは免除。6か月以上滞在する場合は必要となるが、現地での滞在許可証申請は手続が煩雑で、とにかく時間がかかるなどを覚悟する必要がある。手続にはビザなし滞在可能日数の3か月を超える可能性も高いが、シェンゲン国外にさえ出なければ街中でパスポート提示を求められることはない。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

特になし。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

博士論文の資料調査が滞在の主な目的であるため、参加していない。

留学先大学：Université Paris Diderot (Paris 7)

留学先での所属学部・研究科：Master Cinéma, documentaire, médias

留学先での在籍身分：修士課程

留学期間：2017年2月～2017年5月

神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学研究科 博士課程後期課程

学年（出発時）：1年

本報告書記入日：2017年5月2日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

「地球の歩き方」最新版

大学のHPや利用する交通機関等のウェブサイトで最新情報を確認する。

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮、アパート）の名前：Grands Moulins
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：徒歩5分,
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

向かいが図書館で、学園都市街なので静かでパリの中でも比較的安全な地域。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

部屋はキッチン、シャワー、トイレ付タイプで、毎日の食事は近所にあるスーパーMonoprixで買って調理しています。調理器具や食器、シーツ等、日用品の購入はディスカウントショップTATIが安くてオススメ。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

大学寮入居前に、別住所の2か所の事務局で手続きを行う必要があった。しかし、最初に行った事務所で渡された書類に記載された2か所目の事務所の玄関門のセキュリティコードが間違っており、建物内になかなか入れず右往左往した。このように複数の事務所を回って手続き後の入居のため、到着日はホテル滞在で、スーツケースをホテルに預けたほうが良い。

大学の授業について**1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありませんか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ

- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

学期開始から1か月程経ってからの到着だったため、履修登録時期を完全に過ぎており、何人かの先生には直接直談判したが無理だった。ただし私の場合は、現神戸大学博士後期課程で、パリ・ディドロ大学の修士・学士授業の受講であり単位互換は難しいため、ほとんどの授業を履修登録なしで聴講だけさせてもらっている。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Pratiques de archive (アーカイヴ実践)	Frédérique Berthet	3時間	4単位	7人	学期途中からの参加ということもあり、やつ ていないが、テストは20分の口頭発表。
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

私が履修登録できた上記の修士課程の授業は、少人数のセミナークラスで、各人がシネマテーク・フランセーズで調査した資料を用いて冊子制作または展覧会企画または紹介映像制作を行い、最終日にそのプレゼンテーションをする。履修登録はできなかったが、釣行した学部授業は、大行動の講義授業で、学期中旬には小テスト（または小レポート）もある。また学期末にもテストまたはレポートによって評価される。単位取得を目指すなら、授業はレコーダーで録音、現地の同級生からノートを借りる、さらに専門知識を日本語文献で補う等して講義内容をきちんと理解した上でないと難しい。

一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00	聴講授業	聴講授業	聴講授業	自室学習	図書館等 資料調査	博物館等 現地調査	博物館等 現地調査
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00	自室学習						
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想　自由に記入してください。(800字~)

今回はじめて大学間の交換留学生として留学させていただきましたが、運よく比較的安価で大学からも近い大学寮に入居させていただくことができ、またパリ・ディドロ大学の留学生課の方や先生方も親切な方たちだったおかげで博士論文の調査研究を含めた勉強に集中することができ、とても感謝しています。

私にとってパリの長期滞在は今回三度目で、一度目は学部生の夏休みに1か月間、二度目は学部卒業後に1年弱の間フランス語を学びました。それでもパリの言語は、その後2年間滞在していたブリュッセル（ベルギー）に比べて会話速度が速いので、なかなか聞き取りにくいです。初めて留学する人にとってまずぶち当たるのが言葉の壁、次に習慣の違いだと思いますが、失敗を繰り返してやっていくうちに次第にできるようになってくるというのが、私自身の実感です。特にパリは、ひったくりをはじめとした軽犯罪が多い街であるため、メトロの中など人混みは常に身の回りの貴重品に気を付けておく必要があるため、常に気を張って過ごしています。

テロ対策に関しては、美術館等公共施設入口でのセキュリティーチェックを常にやっており、ディドロ大学でも一時テロの緊張が高まったときに実施されました。また、鉄道駅や空港等には武装した兵士が複数います。さらに、テロ等が起こればすぐに在仏日本大使館から在留者向けに日本語でメールが届くので、対応しやすかったです。

現在フランスは非常事態宣言中の大統領選挙まっただ中ということもあり、緊張感はありますが、自分の身は自分で守る危機意識を持って人混みの多い観光地を極力避け、大学や図書館等で勉強に集中するにはとてもいい環境であると思います。

またパリには、有名なルーブル美術館やオルセー美術館だけでなく、中小規模のありとあらゆる美術館、映画館等があり、私の場合は映画・映像関連資料中心ですが、ここに来なければ見ることのできない様々な文化財産を体感することができ、とても貴重な体験をさせていただいています。